近況・雑感

21年度の東京総会に向けて

城東17回　岩田恒美

今年の東京支部総会は、支部長を中心とした幹事の方々の様々な創意工夫により、楽しい会合になりました。幹事の皆様大変有難うございました。特に、アトラクションは素敵でしたし、参加費用面でも随分と考え練られたプランでした。すだち酒とか鳴門金時とか懐かしいお酒（井内君の差入）も飲ませて頂きました。

今回、「東京支部総会」で沢山の皆様と話をさせて頂きました。フルート・アンサンブルｅｆｆで御活躍の阿部絵里奈さん達の華麗な演奏があり、森優子さんが、朗読芝居『怪談』を7月徳島新聞社の協賛を得て徳島で開催する（東京では、7月26日馬橋にて公演）とのお話。多種多芸に秀でた方々のエンタテイメントも出席の楽しみのひとつです。

また、母校ではそれぞれのクラブが全国大会に出場する等めざましい活躍だと早雲校長先生からお聞きしました。数年前には、男子バスケットボールの全国総体が千駄ヶ谷であり三浦君と応援に行きましたが、今年も全国大会に出場のようです。

楽しい時間もあっという間に過ぎ、次回がさらに楽しみになりました。幹事の皆様大変有難うございました。H21年度も大変ですが、皆さんで協力して素晴らしい総会を継続して参りましょう。

ちなみに、私達の学年は、総会の後、「学年の集まり」を渋谷パルコで行いました。お陰様で24名の出席を得、同期の懐かしい話に華が咲きました。ひとりひとりから、「東京支部総会」と「学年の集まり」に出席して楽しかったとのコメントをもらいました。

東京支部総会に出席して

城東26回　角地　博

２００８年6月8日（日）渋谷東武ホテルに於いて、我ら城東高校東京支部総会が開催されました。総会では、早雲校長から城東高校の現況についてのお話、イベントでは、フルートアンサンブルｅｆｆ（49回卒阿部絵里奈さん、林晃子さん）のフルート演奏があり、美しい音色で総会に花を副えていただきました。阿部さんの人気は高く、販売されたＣＤは即時完売いたしました。2時間の総会は、あっという間に終ってしまいました。

二次会では、25回の伊賀公一さんから貴重なお話を聞くことができました。伊賀さんは色弱のカラーコーディネーターとして朝日新聞、日本経済新聞等の全国紙に取り上げられている「いま注目のひと」です。伊賀さんとは初対面でしたが、私の勤務先が印刷会社（東洋美術印刷㈱：千代田区飯田橋）で、お客様の会社案内、パンフレット等販促ツールを企画、デザイン、印刷していることから、色弱の人にはその色はどのように見えているのか、どのような色を使えば全ての人にわかりやすくなるのか等、非常に貴重なお話をお伺いすることができました。これも先輩後輩が一緒に集う同窓会ならではだと感じております。伊賀さん、ありがとうございました。

実は、私は東京支部の総会に出席したのは今回が初めてです。かつては転勤族で地方を転々としていたことも出席できない理由の一つでありましたが、住所変更の連絡もしない無精者でしたので、支部の歴代の役員の方には大変ご迷惑をお掛けしたことと思います。

今回出席のきっかけは、東京支部からの総会案内の他に、同期の戸田さんが東京支部長になったこと、26回生が幹事年になったこともあって、同期の北島さんからいただいた手紙がきっかけでした。なんとか26回生の所在を確認し、一人でも多くの参加を呼びかけたいという姿に感動いたしました。同じ26回生として参加しなくては、という気持ちになったことは事実です。また、今回の総会のために戸田支部長はじめ、岡田さん、北島さん、泊さんの幹事の方が、どうしたら出席人数を増やせるのか、そのために会費はどうするのか、会費を減らしても料理の質は落とさない、着席形式でゆっくり食事ができる場所はないか等々いろいろ調べた上で今回の総会まで辿り着いた話を総会に出席して初めて知り、同期でありながら何も協力できていないことを反省した次第です。来年はしっかり準備に参加したいと考えております。

この総会後の7月19日（土）、26回生で結成したＪＯＴＯ26ＢＡＮＤが東京ライブ（ライブハウス渋谷ＫＡＢＵＴＯ）を行い、26回生だけで52名、家族、友人を合わせると70名（ライブハウス満員）の大同窓会を行いました。年齢を感じさせないパワー、盛り上がりで、ライブ終了後もカラオケボックスで深夜まで騒ぎ、「あの頃」に戻った瞬間でした。

高校時代は全く会話を交わしたことのない人とでも、このような同窓会で会うと直ぐに話が弾むというのは、同じ学び舎で3年育ったという共通の話題があるからだと思います。

現にこの総会後、私は26回生との交流も拡がり、仕事面でも協力をいただいております。一例を挙げると、私の会社はエコパートナーとしてＪリーグ横浜ＦＣを応援しています。7月6日（日）のホームゲームで横浜日産スタジアムを満員にするというイベントがありました。26回生の方に観客動員の協力をお願いしたところ、皆さん快く引き受けてくれ、千二百枚ものチケットを配布してくれました。その中でも約半数を配布してくれました阿部秀昭さんには感謝しております。ありがとうございました。そのお陰でＪ2にもかかわらず3万7千人もの集客に成功いたしました。Ｊ2の試合で3万7千人は驚くべき数字です。これは横浜ＦＣ創設10年来のトップの観客動員数であり、Ｊ2史上2番目の記録でした。横浜ＦＣの奥寺康彦会長からもお礼の言葉をいただきました。同窓生のありがたさを痛感した瞬間でした。

最後に、来年も26回生が事務局を担当しております。まずは同期の方たちとの連絡を取り、今年（10名）以上の参加を呼びかけたいと思います。

是非、各年のみなさんも1人でも多くの方に参加いただけるようお声掛けをお願いいたします。そして城東高校東京支部の輪をさらに大きく拡げていきたいと思います。

卒業30年目の節目を迎えるにあたっての同窓会

城東30回　永岡和喜

「てっちん、久し振り～！」「こんちゃん、なにしょったん～！」と、今年の夏もお盆は徳島へ帰省し、いつも連絡を取り合う仲間と紺屋町阿波踊り演舞場近くの居酒屋に集まりました。阿波弁丸出しの懐かしいイントネーションで、高校生当時の呼び名で交わす挨拶は、まもなく50歳を迎える私が青春時代に戻ることができるキーワードとなります。そして、今年はいつものメンバーの他に新たなメンバーが加わり、一層場が盛り上がりました。その新しいメンバーは、先日、東京渋谷で開催された渭山東京支部総会で出会った同窓生の二人でした。

私自身、この総会に出席したのは2回目となります。今まで殆ど出席しなかったのは、仕事や家庭の都合で予定が合わなかったことと、一番大きな理由は、同級生の参加状況はどうなのかが分からず、もしも知り合いが誰もいなかったならつまらないなという不安があったことでした。そして一昨年、初めて参加した総会はその不安が的中し、一緒に参加した友人以外に知り合いはおらず、「次からは欠席で返事を出そう！」と考えていました。

ところが、事務局から学年幹事を引き受けてほしいという話がきて、「困ったな～！」と思いながらも引き受けることにしました。その理由は、今から7年前の平成13年夏に、私は東京に居ながらにして自ら幹事役を務めて徳島で開催した同窓会で、「今度は卒業30年目の節目に開催しよう。」という話が出て、その30年目の節目が来年であり、今年は東京近郊の同窓生で盛り上がりたいなと考えていたからです。

それからは事務局からいただいた名簿を頼りに、今回の総会への出席依頼を電話でお願いをしたのですが、その反応はすこぶる悪くて良い返事は殆どいただけませんでした。また、仕事から帰宅すると、直ぐに城東渭山同窓会東京支部ホームページを開いて登録者と総会参加者を確認することが習慣となり、「何でこんなこと引き受けたのかなー。」と弱気になったこともありましたが、〆切日が近づくにつれて徐々に出席者とホームページ登録者が増えて、総会当日は8名の同窓生が出席して大いに盛り上がることができました。その後に行ったカフェでは、「来年の同窓会のお手伝いをしたい。」とか「今年の夏休みにみんなと会うときには私も誘って下さい。」という話があり、先ほどの徳島での集まりが実現したのです。

今回この総会に参加されなかった多くの人は、参加はしてみたいけど知り合いがいないとつまらないと思う以前の私と同じ気持ちではないかと思います。しかしながら今は、ホームページに登録することで総会への参加状況をリアルタイムで把握することができ、自分たちの学年の知り合いがいなくても、クラブ活動や同好会、委員会等で一緒に活動した懐かしい先輩、後輩を見つけることができるかもしれません。そして、携帯電話やパソコンのメールで簡単に連絡することができるので、知り合いの参加者をただ待つだけではなく、声をかけあってほしいと思います。

私は今、来年の同窓会に向けての準備作業を考案中です。みんなにお知らせするハガキの購入資金はどうしようか、住所が分からなくなった人はどのようにして探そうか、どの程度の規模の会場にしようか等など、検討する課題は山積みです。しかしながら、今回知り合えた新しい仲間や、徳島在住の同窓生の力を借りながら楽しい同窓会が開催されることを夢見ております。

近　況

城東38回　田尾幹司

城東渭山同窓会東京支部の皆さん、こんにちは。城東高校第38回（昭和52年）卒業の田尾幹司と申します。

わたくしは、平成20年4月に徳島県庁から徳島県東京事務所へ赴任して参りました。せっかく原稿執筆の機会をいただきましたので、徳島県の現在の様子や徳島県東京事務所の仕事などについて説明させていただきたいと思います。

1　徳島県の現在のすがた

人口７９２、７８２人（平成21年2月現在）

市町村数24

2　徳島県東京事務所は、いわば徳島県江戸屋敷です。

徳島県東京事務所では、国会議員や国の省庁との連絡調整を担っています。地方間大競争時代と言われる今日、いち早く旬の情報をキャッチし、後方の部隊＝徳島県庁に正確に伝えることが大事です。

このため、職員が毎日、国の各省庁を回って情報収集をしています。

3　徳島県東京事務所は、徳島県の営業です。

東京では、徳島県はまだまだ知られていません。正確にその位置を知らない人もたくさんいます。このため、いろいろな機会を作って徳島をどんどん東京でセールスしています。

(1)「新鮮なっ！とくしま号」での青果物ＰＲ

徳島から京浜市場へ出荷されている青果は、春ニンジン、すだち、鳴門金時、大根、カリフラワーなど20品目ほどです。

けれども、とくしまブランドは大阪市場でこそ1位か2位のシェアを占めていて、有名ですが、全国的にはまだまだ知られていません。実は、春ニンジンは東京市場では9割を占めています。最近では、東京市場（太田市場や築地市場）で値段が形成されて、大阪市場がその価格より１００円か２００円下回る値段で取引されるというほどに市場での認知度は上がってきました。

また、すだちはすっかり東京でもお馴染みになりました。けれども、まだまだ「かぼす」と混同している人も少なくありません。

このため、徳島の青果物の販路拡大のために、10トントラックを改造して荷台が舞台やキッチンになる移動ブランドショップ「新鮮なっ！とくしま号」を全国各地へ出動させてＰＲに努めています。

年間7回程度京浜地区の量販店などへＰＲに出てきていますので、どこかで皆さんにも見ていただけるかもしれません。

(2)　観光物産の振興

①剣山

若手演歌歌手の北山たけしさんが1月21日に「剣山」という歌を発表しました。徳島の剣山を人生になぞらえて歌っています。作詞は、麻こよみさん、作曲は師匠の北島三郎さんです。北山たけしさんは既に紅白歌合戦に4年連続出場していますが、今年の大晦日には、「剣山」が聞けることを楽しみにしています。「剣山」が有名になれば徳島の観光振興に役立つと、観光協会や地元市町も応援に力を入れています。

②ウェルかめ

今年後半のＮＨＫ朝の連続テレビ小説は、徳島の美波町（旧日和佐町）と徳島市を舞台にした「ウェルかめ」です。徳島が朝の連続テレビ小説の舞台になるのは、「なっちゃんの写真館」以来30年ぶりのことです。

お遍路さんやサーファーが泊まる愉快な民宿がヒロイン・波美（なみ）の実家。都会に出て一流女性誌の編集者を目指したものの、ひょんなことからウミガメに導かれるように人生を大転換し、故郷と向き合うという明るくコミカルなドラマです。テレビに徳島の県南の美しい海岸線が映し出され、徳島ファンが増えてくれることを期待しています。

③東京徳島県人会

東京徳島県人会は、大正15年に創立されました。現在の会員数は約１６００名です。

東京事務所が事務局を務めており、年1回の総会と懇親会を開いています。年会費は無料で総会と懇親会に参加する場合のみ参加費として1万円程度いただいています。昨年は、10月12日（日）に九段下のホテルグランドパレスを会場に約２５０名の方が参加されました。今年は、10月24日（土）11時30分から14時30分の予定で同じホテルグランドパレスで開催することとしています。昨年、若い県人にも知ってもらおうとホームページを立ち上げました。「東京徳島県人会」で検索していただければ、ヒットしますのでぜひご覧ください。

また、県人会総会・懇親会は、事前にお申込みいただくことになっていますので、ご関心のある方は、徳島県東京事務所までお問い合せください。

④アンテナショップ

徳島県では、東京での物産販売店として、去る3月24日にローソン虎ノ門巴町店内に徳島物産販売コーナーを設置しました。コンビニエンスストアの中に地方自治体のアンテナショップがオープンするのは全国初とあって、自治体や流通業界から高い関心が寄せられています。巴町店では、竹ちくわ、フィッシュカツ、じゃこ天、お菓子、半田素麺、徳島ラーメン、鳴門ワカメなど、徳島を代表する物産約60品目を販売しています。

24時間、３６５日徳島の物産を置いてありますので、ローソンへ立ち寄った人が、徳島の物産を手にとってもらえる機会が増えました。虎ノ門周辺は、オフィス街なので、ＯＬさん達が昼休みに訪れて、コンビニ用に小パックにしたスイーツを次々と買ってくれています。

⑤ふるさと納税

昨年5月から、ふるさとなどへ寄附をしたときは、5千円を超える部分について、所得税と住民税が減じられるという制度ができました。今年も多くの方がふるさと納税を活用してふるさと徳島を応援してくだされば幸いです。

徳島県東京事務所は、県人を応援しています。いつでも、お気軽にご連絡ください。

徳島県東京事務所
電話　03－５２１２－９０２４
Email　tao_kanji_1@pref.tokushima.lg.jp

総会でのフルート演奏

城東49回　阿部絵里奈

今年はじめて、「渭山東京支部総会」に参加させて頂きました。

私どものフルート演奏をお聴き頂けたことを、この上なく光栄に思っております。

普段は、「フルートアンサンブルｅｆｆ」として横浜を拠点に4人で活動しておりますが、あの折は、そのメンバーの一人であります林晃子とのデュオをご披露させて頂きました。皆様、各界各層において幅広いご活躍をされている方々ばかりであり、分けても母校の先輩ということもあって、さすがに緊張を禁じ得なかったというのが、正直な気持ちです。

そんな緊張を解きほぐして余りある和やかな雰囲気で包み込んで頂いたこと、そして会場の誰もがとても温かく接して下さったことを本当に嬉しく感じたことが、思い出されます。やはり、ふるさとを同じくすることの見えない絆の強さなのかも知れないという思いを強くしました。

演奏後は、たくさんの皆様に私達のＣＤにも強い興味を持って頂き、またたくさんの応援の言葉も掛けて頂き、本当に感謝しております。

ふるさとの名に恥じないようにとか、母校の伝統を汚さないようにとか、そんな大それた気負いを持つことを自分に課すことはないまでも、せめて会場で頂いた皆様の励ましに応えられるよう、今後とも、ここ東京、神奈川を中心に、音楽を通じて、自分に出来る精一杯の努力を傾注していきたいと思っておりますので、どうか今後ともご支援、ご指導を頂きますよう、心からお願いいたします。